

事業別の概況

■売上概況

●電池事業

アルカリ乾電池は、新製品を国内外で拡販したことや海外のOEM販売などが堅調に推移したことにより、前年同期を上回りました。ニッケル水素電池は、海外の市販用途向け、工業用途・車載用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。リチウム電池は、防災機器・セキュリティ用途ならびに車載用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。蓄電システムは、民生・産業機器用途向けバックアップ電池が堅調に推移し、前年同期を上回りました。

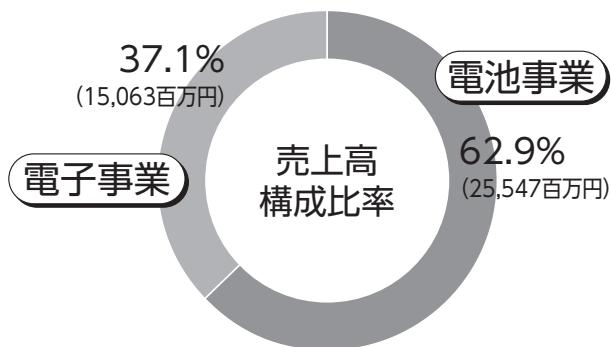
その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ19億52百万円増の255億47百万円となりました。

●電子事業

コイルデバイスは、車載用途向けが堅調に推移したものの、民生・産業機器用途が落ち込んだことにより、前年同期を下回りました。DC-DCコンバータは、サーバ・ストレージならびにネットワーク機器用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。セラミックス部品は、デジタルカメラ市場の低迷などにより、前年同期を下回りました。液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、産業機器・液晶TV用途向けが伸長し、前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ30億85百万円増の150億63百万円となりました。

■売上高構成比率



■売上高

